

下町河川 Tomorrow

これは東京都の江東内部河川流域連絡会の情報誌（議事録）です。

2月10日（木）

第3回江東内部河川流域連絡会が開催されました。



平成12年2月10日（木）P.M.2:00～、墨田区役所13階の第131会議室において、「第3回江東内部河川流域連絡会」が2時間半にわたり開催されました。

- ・都民委員9名（墨田区、江東区、江戸川区各3名）、行政委員10名の計19名の委員のうち、17名が参加しました。
- ・オブザーバーとして都民1名と、前回に引き続き臨時委員2名に参加していただきました。

当日は、始めに前回（現地見学会）の都民委員からの質問等に対する回答、行政委員から今年度の江東内部河川について情報提供があり、次に都民委員の意見が論じられました。また、会場にオブザーバーとして参加していただいた吉田幹夫氏が撮影した江東内部河川の写真が展示され、各委員の注目を集めました。

前回質問事項等に対する回答

□ 旧中川（ふれあい橋） について

● ワイルドフラワーも悪くないが、アジ等の日本在来種を中心とした植生の方が良い

⇒・工事後、開放するにあたって、化粧としての意味合いでワイルドフラワーを植栽しました。これからの整備にあたっては、ヨシやアジ等をなるべく活かした整備をしていこうと考えております。

● ふれあい橋付近の工場は、川側だけでも植栽することができないか

⇒・区役所から工場に、川側だけでも植栽できないかというお話をさせていただいたところ、前向きに検討するというお答えをいただきました。

● 横十間川には高木があるのに、旧中川ではなぜ高木植栽が難しいのか

⇒・横十間川等公園化されている所は、公園地盤高と水面との差が1m以上ありますが、旧中川は高水敷と水面との差が50cm程度しかなく、高水敷も水につかる計画となっております。また、セメント系の地盤改良を行った堅い地盤となっていることから、樹木の成長が悪いのではと考えております。今後、この問題については検討していく必要があると思います。

□ 横十間川（親水公園） について

● 水質を改善するべきでは

⇒・一部水質浄化を図り水遊びが出来るようにしていますが、基本的な考え方としては、ハゼ、ゴウ、カ等を見たり、自然との触れ合いを目的としているため、隅田川の水をそのまま利用しています。そのため、シャワーを整備し、洗って帰れるようにしております。

● 古い護岸跡は、修景的または展示的な整備をした方が良い

⇒・仙台堀川に古い護岸を展示していますが、なかなか地面下の基礎まで見せるのは難しいと考えておりますが、嵩上げ護岸保存研究会等で現在検討を行っております。

● 川を埋めてしまうことには反対

⇒・行政側もこれについては反対なので、区の方針として、川を埋めることはありません。

□ 大横川（親水公園） について

- 汚れが目立つ気がするので、地域の方々に協力してもらう仕組みは出来ないか
⇒・1ヶ月に数回委託業者をお願いして園内清掃を行い、その他補修等も区で対応しております。他の公園では、地域の方々に簡単な清掃をお願いする愛護協定を実施しておりますので、今後そういう組織づくりを考えていきたいと思えます。
・江戸川区内には、地元から「〇〇川を愛する会」というものが自発的に生まれ、ボランティアで清掃活動を行っている所もあります。
- 公園の出入口が貧弱で、周囲からわかりにくい
⇒・親水公園のアプローチはどうしても橋詰からになりがちなため難しいのですが、今回見学いただけなかった下流側のほうには、道路から親水公園にすぐ入れる開放的な所もあります。
- 自然と防犯、相反する問題に対してどのように対処しているのか
⇒・極力木の枝の剪定を行い、なるべく明るく、（利用者がお互いに）目が行き届くような形で対応しております。
- 親水公園はどのように利用されているのか
⇒・下流側にあるイベント広場では、半年に一回程度、地場産業であるガラス市等を行っています。その他では、ゲートボール、散歩、水遊び、写生大会等が行われています。
- かつての川をしめきって良い理由が知りたい
⇒・昭和46年、江東防災総合委員会（建設大臣の諮問機関）の答申を受け、大横川や横十間川の一部の区間については、公園等の都市施設としての機能整備を行ったほうが良いということになりました。

□ 扇橋閘門 について

- 周囲の景観に配慮したデザイン、植栽等の工夫が必要
⇒・閘門整備は昭和52年であり、当時景観への配慮といった視点はあまり考えなかったと思います。今後、景観にも配慮した整備を考えていく必要があるかと思えます。また、現在のところ景観的な理由での改修は考えておりません。

●地元小中学生等を対象とした見学会等、施設の一般公開をするべきでは

- ⇒・都民に直接広報してまでは公開を行っていませんでしたが、見学のご要望があれば対応しており、葛飾区の水門では、小学生の見学コースとして定着しています。今後も極力ご要望に答えたいと思っております。
- ・区の社会科の副読本に扇橋閘門の記述があり、近隣の小学校の生徒には、見学、説明をしていると聞いています。
 - ・柵の取り払いについては、水面との高低差があるため、難しいと思います。

□ その他江東内部河川全般について

●舟運の活性化

- ⇒・荒川ロックゲート（建設省）は、レジャーや船着場の整備により一大防災ステーションとなります。このロックゲートの整備により、旧中川、小名木川を經由して隅田川に出る輸送ルートができますので、日常的な舟運の復活としても、流域連絡会の中で考えていき、計画に取り入れていきたいと思っております。

●文化、歴史の継承

- ⇒・江東区では、内部河川の生い立ち、過去の水害の記録等を展示している親水館をつくりましたので、是非ご利用下さい。

行政委員の情報提供

行政委員、事務局により以下の資料についての説明が行われました。

- 平成11年度の工事実施状況について
(東京都・墨田区・江東区・江戸川区)
- 平成11年度江東内部河川にかかわる事業・活動の取り組みについて
【補足説明】
 - * 東京都の河川及び東京港における係留船の実態について
 - * 第一回東京都廃船処理協議会について
 - * 業平橋ポンプ場放流渠切替事業について
 - * 小松川第二ポンプ場建設工事について
- 「荒川流域水害シミュレーションビデオ“東京大水害”（建設省製作）」鑑賞

都民委員の意見・感想

□ 河川環境について

- ・ 環境面では、石があったり、窪みがあったり、生物が生息しやすい環境づくりが必要だと思います。
⇒多自然型護岸等様々な工夫をしておりますが、植生、水質等も含めて、今後は、生物からの視点で自然について考えていく必要があると思います。(行政委員)
- ・ 横十間川で草ぼうぼうと言っていますが、それが野鳥たちにとっては非常に良い状態なので、そのことを考慮した整備を進めていただきたい。
⇒現状の雑草のままで良いという意見と、きれいにしたほうが良いという意見のどちらの要望もありますので、今後色々な意見を聞きながら検討していきたいと思います。(行政委員)
- ・ 植栽については、3区で調整して補植や管理を決めているのかといった点について、今後の話題としていただきたい。
- ・ 一般市民から見ると、技術専門家が中心となった堅い計画になりがちで、夢が足りないという感じがします。荒川の水門のように、地元の中学生の絵をデザインするようなことが出来れば、もっと一般住民の河川に対する関心が上がると思います。

□ 河川の有効利用について

- ・ 小名木川に消防用の配管がされていますが、そのような場所を何ヶ所か増やし、さらにポンプ等を設置し、周囲の人が利用できるような仕組みをつくれれば役立つと思います。また、川から消化できる消防船の活用も必要だと思います。
- ・ 舟運については、例えばベネチアのように、商店街を結び停留所が多くあり、地域に根ざした、通学や通勤にも利用できるような水上バスの整備が図れば良いと思います。
- ・ 出入口が川に向かっている建物はあまり見かけませんが、川に向けた建物づくりは出来ないのでしょうか。そうすれば、河川管理にも関心が高まると思うし、防災面でも安全だと思います。

□ 流域連絡会について

- ・ 行政と住民が共有する会議としては、ほとんどが行政側の報告であったことはおかしいと思います。今後改善していくべきだと思います。
- ・ 今回年度末ということで、多くの行政側からの情報を頂きましたが、その結果時間的に非常に苦しくなりました。個人的には荒川のビデオは非常に面白く見させて頂きましたが、あのビデオを見てどうしろというのが正直な気持ちです。
- ・ 流域連絡会は、行政対住民というスタンスではなく、みんなの意見を伝え合う、情報の共有化を主旨として発足した会だと思いますので、今回は、吉田さんが写真を撮られたときの気持ちを聞きながら、我々もそれに対して思いだとかその当時のことを思い出しながら、今までの内部河川の姿と住民の思いを記録として残していくことを提案します。
 - ⇒次回も吉田さんに臨時委員として出席頂いて、そういった思いも議論できれば良いと思います。(行政委員)
- ・ 本連絡会の都民委員の公募者はどのくらいだったのか、書類による選考はどのような基準だったのか、都民委員の選考方法を教えていただきたい。
 - ⇒区報で公募し、800字の論文を書いていただき、所長を委員長とした委員会で選考いたしました。年齢層や性別等を考慮しながら、行政委員とのバランスを考え、各区3名ずつ、計9名の方を選出いたしました。

『下町・川ものがたり』 1974～1999

吉田幹夫氏撮影の江東内部河川の写真を展示

今回オブザーバーとして参加していただいた吉田幹夫氏が、昨年11月に江東区文化センターで開催した写真展『下町・川ものがたり』1974～1999の写真を、吉田氏のご好意により会場に展示させていただきました。

写真展は、江東内部河川を中心に昭和49年に撮影した写真撮影位置とほぼ同じ場所で、再び平成8年～11年にかけて撮影し、25年間の河川の変化を記録したもので、本連絡会においては大変貴重な情報となりました。



連絡会の今後の予定について

- ・ 第四回の日程につきましては、改めてご連絡いたします。
- ・ 連絡会の運営についてのご意見ございましたら、事務局までお寄せ下さい。

江東内部河川流域連絡会（第3回）・委員名簿

平成12年2月10日
(敬称略)

都民委員 (9名) ※7名出席	勝田 幸雄 木村 幸一郎 須永 俣子 田中 兼勝 中田 由和 西田 實 藤井 勇 藤井 達生 増田 レア	江戸川区 (欠席) 墨田区 (欠席) 江東区 墨田区 江戸川区 江戸川区 江東区 江東区 墨田区
(おザ・パ)	吉田 幹夫	江東区
行政委員 (10名)	渡邊 正雄 粒来 亮 新村 義彦 福島 康夫 伊藤 博 山崎 孝一 高橋 紀男 石井 幸一 ◎下松 義之 高橋 一之	墨田区土木部工事課長 江東区土木部河川公園課長 江戸川区土木部計画課長 東京都環境保全局水質保全部計画調整課長 * 下水道局計画部施設計画課長 * 建設局河川部副参事 (係留船等対策担当) * " " 副参事 (総合治水・氾濫河川防災計画担当) * " " 第五建設事務所管理課長 * " " 江東治水事務所内部河川工事課長 * " " 江東治水事務所水門管理課長
(おザ・パ)	浅古 庄一	* 下水道局東部第一管理事務所ポンプ施設課長(欠席)
臨時委員 (2名)	加藤 勲 斎藤 富三	江戸川区 「燈籠流し」を行う会 江東区 「和船友の会」

◎座長

連絡先：江東内部河川流域連絡会事務局（東京都江東治水事務所内部河川工事課内）

担当：下松、高橋

TEL: (03) 3692-4651 (代) 内線 431 FAX (03) 3692-9955